

(様式 6 - 1)

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	他団体との連携・協働による 「橋の日」インフラ啓発活動を全国に発信！
助成事業者	宮崎「橋の日」実行委員会
代表者	会長 大田原 宣治
<p>(目的)</p> <p>私たちは日頃なにげなく利用している橋とのふれあいを通して、橋の役割を再認識するとともに、道路・河川の愛護や浄化への意識を高め、ひいては郷土愛を深めるために、8月4日「橋の日」に記念行事を実施しております。</p> <p>あわせて、宮崎発祥の記念日を全国に広める活動とともに、県内の全市町村においても活動の輪が一層広がるよう取り組んでいます。</p>	
<p>(概要)</p> <p>① 8月4日「橋の日」イベントの開催</p> <p>8月4日(月)宮崎市の橋橋にて、「橋の日」イベントを開催し、約80名が参加しました。式典では、宮崎市長、国土交通省宮崎河川国道事務所所長、宮崎県県土整備部長、他参加団体の代表者の皆さまよりご挨拶や橋への献花をしていただきました。</p> <p>その後、参加者全員での橋橋の欄干の汚れ拭き取り、点字ブロックの清掃(協力:宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合)を行いました。</p> <p>② 「橋の日」広報活動</p> <p>県内外へ「橋の日」活動を広めるため、パンフレットやのぼり旗の発送等を行いました。県内では、各地区へ「橋の日」イベント開催の支援を行いました。</p> <p>また、広報の充実を図るため、ユーチューブによる動画配信、県防災庁舎におけるパネル展の開催、大学生向け「インフラストラクチャーと地域づくり」講話、各メディアへ「橋」関連の情報提供等を行いました。</p> <p>③ 地域のお宝再発見ツアー</p> <p>第14回地域のお宝再発見ツアーとして、橋の日メンバー等10名で長崎へ行ってきました。今回は、大島大橋の主塔に登るという貴重な体験からスタートしましたが、風がかなり強く、柵があるとはいえ頂上はドキドキしました。その後は、新西海橋、めがね橋、諫早眼鏡橋を巡り、さらに稲佐山公園やスタジアムシティサウスにも足を延ばしました。</p> <p>④ 紙芝居上演活動等</p> <p>「とんとところ地震」、「福島邦成と橋橋」の紙芝居上映等、年間を通じてさまざまな活動を行っています。地域の歴史やまちづくりについても、紙芝居を通じてお伝えしています。また、紙芝居の演者育成セミナーを開催するなど、活動の幅を広げています。</p>	